西東京市市民協働推進センター

平成30年度第11回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成31年3月19日(火)午後7時00分～9時00分
■開催場所：イングビル3階第3、4会議室
■出席委員：伊藤委員、海老澤委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、鈴木委員、三好委員＜以上6名、五十音順＞
■事務局　：小松センター長、鈴木副センター長、妻屋福祉活動推進課長、山田地域福祉推進課係長

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、2月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：NPO団体からガバナンスの相談があるが、専門性が高い場合のつなぎ先はどこか。

事務局：日本NPOセンターとつないでいる最中だ。

事務局：ガバナンスの立て直しになると、最終的には有料の相談窓口につなぐことになると思う。

2. 3月以降の事業について

事務局より、3月以降の実施事業について説明があった。特に質疑はなかった。

3. 来年度の運営委員会委員について

事務局より、平成31年度西東京市市民協働推進センター運営委員会委員について説明があった。特に質疑はなかった。

2. 審　議　事　項

1. 会議録について

委員長：第8回、第9回、第10回の会議録について意見が無ければ確定稿とする。

2. 来年度の事業計画及び予算について

事務局より、平成31年度西東京市市民協働推進センター事業計画・予算（案）について説明があった。

委　員：係の方針欄は企業との連携をもう少し盛り込んではどうか。今年度の振り返りがあって次年度の事業計画になると思うが、これまでも企業との連携がまだまだ取れていないのではないかと感じている。情報収集でも市民活動団体関係の情報収集に偏っている感があるので、少しでも企業の情報収集を盛り込めないかと思う。協働のまちづくりワークショップにも企業の参加が図れると良いが、進展には一工夫が必要だと思う。地域の企業が地域連携を図るためにゆめこらぼに立ち寄るような関係が作れると良い。こちらから求めていかないと企業も何をしてよいか分からない。具体案はないが、何かできないかと感じている。

事務局：例えばこそだてフェスタの目的は地域連携であるが、成功させるために企業を回って協賛金を貰ったりしている。団体と企業をつなぐというと、どうしてもそういう目線になってしまうので他の情報発信の方法があれば教えて欲しい。
委員長：CSR 的動きは企業としても宣伝になる。
委　員：企業がやっている地域貢献活動を紹介することもできるのではないか。企業宣伝にもなるのでそういう部分で土俵に乗せていく事も考えられる。
事務局：見える化するための情報収集をすることか。
委員長：例えばオーロラ印刷がシネマ倶楽部をやっているなどか。
委　員：市民が企業としてみるのか、団体としてみるのかだ。企業の社会貢献は見えないので発信する手法があれば企業ともつながれる可能性があるのではないか。
委　員：第三者評価はどのような形でするのか。
事務局：運営委員会で内部評価を基に、ゆめこらぼと利害関係がない団体にお願いして事業評価をしてもらう。
委　員：予算で大きく変わったところはあるのか。
事務局：第三者評価の予算だ。
委員長：出た意見は活かしてもらう事とし、承認する。

事務局より、平成 31 年度西東京市市民協働推進センター活動計画（案）について説明があった。
委員長： 10 月に行われる事業報告は上半期の報告か。
事務局：そうだ。
委員長：5 月の運営委員会での第三者評価の報告があるがどのような内容か。
事務局：予定では、5 月、6 月、7 月で経過報告をしていく。
委員長：承認することとする。

協　議　事　項

1. 今年度の事業報告について

事務局より平成 30 年度西東京市市民協働推進センター事業報告（案）について説明があった。
委　員：年度当初の方針の中で旧保谷の認知度をどう高めるかとあるが、どう寄与したのか、つながりを強化しているのは理解しているので、その部分を成果なり課題に記載してはどうか。
事務局：旧保谷地域でのイベントに参加することで NPO 市民フェスティバルの参加に繋がった団体もあるので記載していく。
委員長：課題に対しての改善案なり対策は今後どこにでてくるのか。
事務局：次年度計画につなげている。

2. 自主企画委員会（やってみ隊）について

事務局よりこれまでの動きとフィードバックについて説明があった。
委員長：ニーズに合致する企画になっているのか、合致させていくためにはどうしたら良いか。
委　員：資料にある以下抜粋は参加した方の意見か。
事務局：そうだ。

委　員：前向きな発言だとは思う。集まって話したことがスタートになっている。今後の展開に期待する。ゴールを決めずに意見交換などを継続してはどうか。その中でいろいろなヒントが出てくる可能性はある。
委員長：現状の進め方を継続していく事とする。

3. 重要事業の企画について

事務局より地域活動紹介ゆめサロン（企画案）について説明があった。

委　員：開催時間が 4 時間とあるが何か仕掛けがあるのか。
事務局：団体の活動紹介と共にお昼は実費で実際に提供しているものを皆で食すことを考えている。ゆめサロンは活動団体が提供する昼食を食べる企画が好評である。
委員長：調理をするのか。
事務局：調理はしない。時間的に余裕がないので持ち込みでお願いする。
委　員：ここで学ぶ内容はなにか。
事務局：地域活動にデビューしてもらうきっかけとしてこども食堂を紹介する。こども食堂は様々な団体が活動しているので、いろいろな形で参加の仕方ができるのではないかと考えている。
委　員：こども食堂を通して市民活動を学ぶのであれば、活動団体の方たちがこども食堂に至った経緯やそこで得られる市民活動の意義を共有できれば、参加者は必ずしも子ども食堂ではなくても市民活動に携われる何かが得られるのではないか。こども食堂だけが前面に出てしまうと感じた。
委　員：社会福祉法人連絡会がフードドライブで集まった食品をこども食堂に提供している。活動紹介をするだけではなく、市民がどう参加するか、市民側からこういう参加もあるという事が見えるなどバックヤードの話もあれば良いと思う。
事務局：意見を取りいれて内容を詰めていく。

4. 平成 31 年度事業協働の事例紹介について

事務局より協働の事例紹介（企画案）について説明があった。

委員長：資料-1 と資料-2 は次回か。
事務局：そうだ。文章だけではなく視覚でもわかるように図を入れる予定だ。
委員長：では、それで進めて欲しい。委員からも意見があれば随時知らせて欲しい。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：4 月 16 日（火）19 時～21 時
会場：イングビル 3 階　第 3, 4 会議室